

カイガラムシの仲間

普通目にするカイガラムシは全て雌で、雌成虫は翅も足も無く枝に固着し動けない。雄成虫は翅があり雌を訪れ交尾する。幼虫には脚があり移動できる。



ツノロウカイガラムシ



カタカイガラムシ科 体長6～10mm
体は白いロウ物質に厚く覆われている。多食性で様々な樹木につく。



ルビーロウカイガラムシ

カタカイガラムシ科 体長4～5mm
体は赤紫色のロウ物質に厚く覆われている。多食性で様々な樹木につく。インド原産の外来種。



タマカタカイガラムシ

カタカイガラムシ科 体長4～5mm
体は球状で表面は固い殻になっている。サクラ・ウメなどバラ科の樹木につく。



ヒモワタカイガラムシ

カタカイガラムシ科 体長3～7mm
雌成虫が生育すると、白色のロウ物質からなるひも状の部分が長く成長し、この中には大量の卵が入っている。多食性で様々な樹木につく。



イセリアカイガラムシ

ワタフキカイガラムシ科 体長4～6mm
白色のロウ物質からなる体で、成熟すると大きな卵のうを形成する。柑橘類の害虫だが、他の樹木にもつく。オーストラリア原産の外来種。多食性。



オオワラジカイガラムシ

ワタフキカイガラムシ科 体長8～12mm 国内最大種で、雌成虫も脚があり歩く。クヌギ・コナラなどを好む。

